

化学物質安全データシート

化学物質の名称（製品名）：バルククリーナー BK 690

1 会社情報

会社名： 株式会社バルクケミカルズ・ジャパン
住所： 大阪府八尾市太田新町 9-3（本社）
管理部門： 総務部
作成部門： 総務部
連絡先： 総務部 TEL：072-948-4801 FAX:072-949-7092 担当者：藤林 文博

2 組成、成分情報（危険有害物質を対象） 単一化合物／混合物：混合物

物質名	CAS NO.	濃度	備考
硫酸	7664-93-9	10～20%	労安法
フッ化水素酸	7664-39-3	～1%	P R T R 法、労安法、毒劇法

P R T R 法：該当

該当項目	物質名	CAS NO.	濃度
ふっ化水素およびその水溶性塩（施行令別表第 1 の 283）	フッ化水素酸	7764-39-3	0.1%

労働安全衛生法：該当

該当項目	物質名	CAS NO.	濃度
硫酸（法 57 条の 2 施行令 18 条の 2 別表 9 の 611）を含有する製剤（同 632）	硫酸	7664-93-9	10～20%
弗素及びその水溶性無機化合物（同 485）を含有する製剤（同 632）	フッ化水素酸	7764-39-3	1%未満

毒物及び劇物取締法：該当（毒物および劇物）

該当項目	物質名	CAS NO.	濃度
弗化水素（法第 2 条別表第 1 の 22）を含有する製剤（指定令第 1 条の 24）（毒物）	弗化水素	7764-39-3	0.1%
硫酸を含有する製剤（指定令第 2 条の 104）（劇物）	硫酸	7664-93-9	12%

3 危険・有害性の分類

分類の名称：酸性物質、腐食性物質、急性毒性物質

危険有害性コメント：

- 酸化性がある物質である。
- 腐食性がある。接触により、生体組織を破壊させる恐れがある。
- 急性の毒性がある。重大な急性または慢性中毒の恐れがある。

4 応急措置

目に入った場合：

- 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- できるだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- 汚染された衣類や靴は速やかに脱がせる。
- 直ちに付着または接触部を大量の水で十分に洗い流す。
- 速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合：

- 蒸気ガス等を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にして、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- 多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。ただし、気を失っている場合には無理に飲ませない。
- 嘔吐物を飲み込ませないこと。

5 火災時の措置（本品は不燃性）

消火方法：

- 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- 速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には、遮蔽物の活用等容器の破損に対する保護措置を講じ、容器および周辺に散水して冷却する。容器に水が入らないよう注意する。

6 漏出時の措置

- 適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 漏えいは、石こう、木栓等で止め、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物等は関係法令にもとづいて処置をする。
- 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収後の漏洩場所は、霧状の水を多量にかけ、ある程度希釈した後、消石灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。直接中和剤を散布せず、ある程度希釈してから中和する。また、濃厚な廃液が河川などに排出されないよう注意する。

7 取扱、保管上の注意

取扱上の注意：

- 換気の良い場所で取り扱う。
- 蒸気ガスを吸入しないよう、また皮膚、粘膜、または着衣に触れたり目に入らないように適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 有機物、酸、アルカリおよび木、紙、布等の可燃物との接触を避ける。
- 水に溶かす、または希釈する時は、発熱するので水の中に少量ずつ加える。
- 取り扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管上の注意：

- 直射日光を避け、通風の良い、氷点下もしくは高温にならない場所に保管する。
- 火気、熱源から遠ざけて保管する。

- 容器は確実に密栓する。
- 盗難防止のために施錠保管する。

8 暴露防止措置

設備対策：

- 装置は耐腐食性のある材質を用いて作る。
- 作業者が直接触れたり暴露されることなく、局所排気装置等により作業者が蒸気ガスなどの暴露から避けられるような設備にし、便利なところにシャワーおよび洗顔設備をおく。

保護具：

- 目保護具
 - ・ ゴーグルまたは顔面シールドを着用する。
- 皮膚保護具
 - ・ 取り扱い者は顔面シールド、頭巾、保護衣を着用する。
 - ・ 耐化学薬品性のゴム性保護手袋、保護長靴、保護衣を着用する。
- 呼吸保護具
 - ・ ガス用防毒マスクを着用する。
 - ・ 密閉された場所では送気マスクを着用する。

9 製品の物理／化学的性質

- 状態： 液体
- 色： 無色透明
- 沸点： 104℃以上
- 比重： 1.08 (21.1℃)
- その他： 水に溶解する。

10 危険性情報

製品特数：

- 引火点： 情報を有していない。
- 発火点： 情報を有していない。
- 爆発限界： 情報を有していない。

反応性・安全性：

- 接触により危険性のある物質
 - ・ 水と接触し、わずかに発熱する。
 - ・ 有機物との接触により、有機物の可燃性を高め、火災を発生する可能性がある。但し、当薬剤の通常の使用条件（常温）では火災を発生する可能性はない。
- 燃焼などによる有害ガス発生
 - ・ フッ化物は、この物自体が燃えないが、高温に熱せられると有害ガス（フッ化水素等）を発生する。但し、当薬剤の通常の使用条件（常温）ではガスは発生しない。

11 有害性情報（組成物質の有害性および暴露濃度基準）

物質名	①管理濃度 ②許容濃度 ③ACCIH(TLV) ④RTECS ⑤その他の有害性
硫酸	②1mg/m ³ ③3mg/m ³ (STEL) ④LD50(経口):2,140mg/kg(Rat)
フッ化水素	①3ppm ③3 ppm(F)CV

組成に関するその他の有害性情報：

- 腐食性が強く、皮膚に触れると侵し、目に入った場合は失明の恐れがある。
- ダストやミストを吸入した場合は呼吸器官を侵すことがある。
- 体内に吸収した場合、肝臓、腎臓の機能障害を起こすことがある。

製品に関する有害性情報：

- 製品としての安全性試験は行っていない。

12 環境製情報

- 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13 廃棄上の注意

- 薬剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14 輸送上の注意

共通： 取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従う。

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められ運送方法に従う。

海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送： 航空法に定めるところに従う。

15 主な適用法令

- 労働安全衛生法 硫酸（法 57 条の 2 施行令 18 条の 2 別表 9 の 611）および弗素及びその水溶性無機化合物（同 485）を含有する製剤（同 632）
- 毒物劇物取締法 弗化水素を含有する製剤（指定令第 1 条の 24）および硫酸を含有する製剤（指定令第 2 条の 104）
- P R T R 法 ふっ化水素およびその水溶性塩（施行令別表第 1 の 283）

16 その他

引用文献：

- 日本塗料工業会編集「MSDS 用物質データベース」
- 日本塗料工業会編集「MSDS 作成ガイドブック」
- 13700 の化学商品
- 毒物劇物取扱の手引き
- 危険防災救急便覧
- ACGIH： THRESHOLD LIMIT VALUES FOR CHEMICAL SUBSTANCES AND PHYSICAL AGENTS

注意： 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意してください。この製品安全データシートは現時点で正確なものと考えられる資料、データに基いて作成しておりますが危険、

有害性の評価は必ずしも完全なものでなく、正確確実性を保証することは出来ません。必要な安全な取扱いを決定する場合は、使用者がその責任において関係法令およびこの情報を参考にいただき内容は法令の改正および新しい知見に基き改定されることがありますので最新の情報の元に従って安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。またここに記載された情報は保証するものではありません。